

パラグアイの小学校で卒業できない子どもがいるのはなぜか

『365日の全授業』対応事例▶「伊藤さんが活動していたパラグアイはどんな国だろうか」（p.258～259）

■子どものICT環境



端末

- iPad (Apple)

OS

- iPadOS 15

ツール・アプリ

- Google Earth (Google)
- ロイロノート・スクール (ロイロ)
- Zoom Meetings (Zoom)

事例国の視覚的な概要把握につながる Google Earth の活用方法と、情報を整理し思考を深めるシンキングツールの使い方を紹介します。

■授業のDXのポイント



①パラグアイへの関心を高めることができる

発展途上国の多くが、子どもたちにとって馴染みの薄い国ばかりです。そこで Google Earth を活用することで、臨場感をもってパラグアイの町の様子を観察することができます。

②情報を整理し、考えをまとめることができる

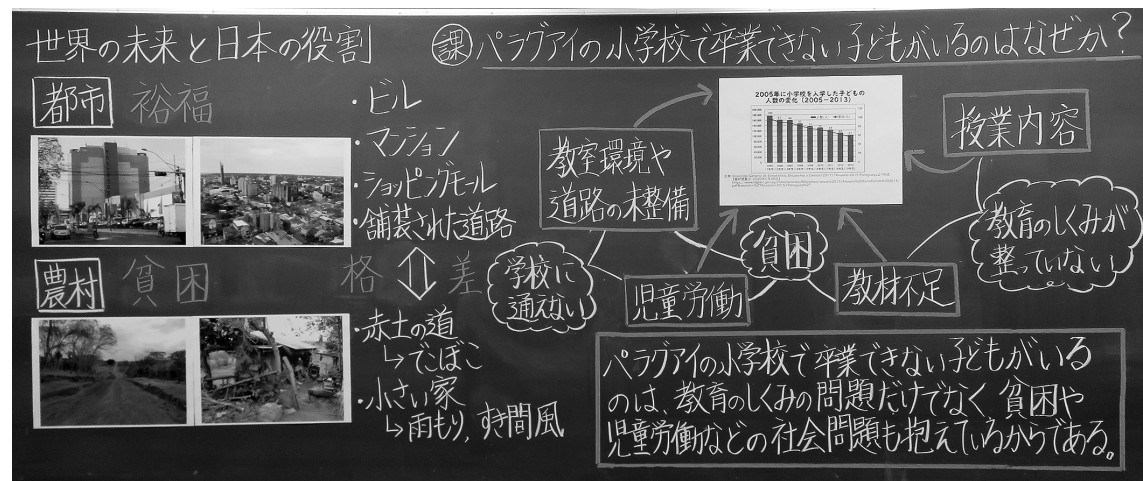
ロイロノートのシンキングツールを活用することで、根拠を明らかにしながら、課題に対する自分の考えをまとめ、相手に伝えることができます。

③次時の学習の見通しをもつことができる

ロイロノートの共有ノートの機能を活用し、ゲストティーチャーへの質問を整理することで、見通しをもって次時の学習に臨むことができます。

授業のねらい

- ・事例国であるパラグアイの国の様子に関心をもち、資料で調べることで、パラグアイが抱える問題に気づき、その要因を考えることができる。
- ・本時ではまず、Google Earth を使うことで、パラグアイの概観を視覚的に把握できるようにする。次にシンキングツールを活用して、根拠を明確にしながら、課題に対する自分の考えを表現できるようにする。



■教材・資料

- HP「シンキングツール（思考ツール）を学ぶ」（ロイロノート）
<https://n.loilo.tv/ja/thinkingtool>

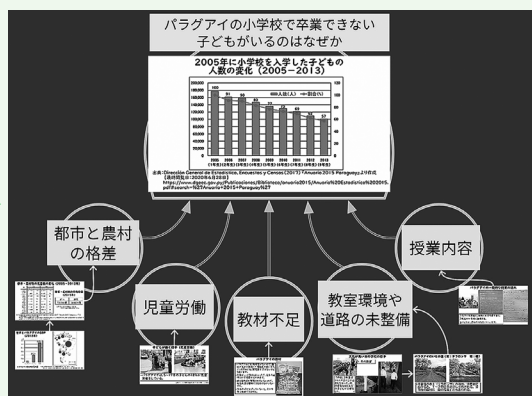
つかむ ①視点を決めて町の様子を比較する

パラグアイの都市と農村の比較



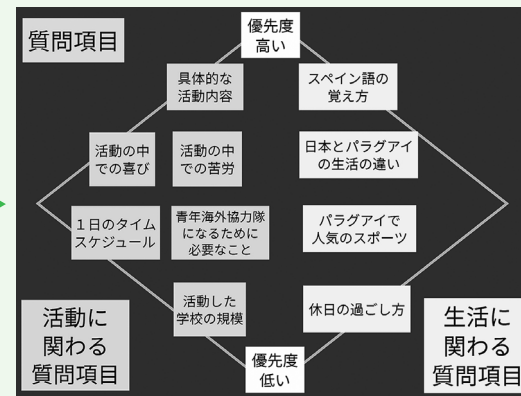
Google Earth のストリートビュー機能を活用して、初めて学習するパラグアイの町の様子を観察します。その際に、「日本とパラグアイの首都の違い」や「パラグアイの都市と農村の違い」など、視点を決めて写真を比較すると、パラグアイの問題が明らかとなります。ストリートビュー機能が反映されていない場合には、ゲストティーチャーから事前に写真を受け取っておきましょう。

調べる ②シンキングツールで考えを整理する



自分の考えの根拠を明らかにするために、ロイロノートのクラゲチャートを使います。足の部分には、「小学校を卒業できない要因」を短文で表現し、その近くに根拠となる資料を貼り付けておきます。個人追究の後には、グループで交流し、1枚のクラゲチャートに班員の考えをまとめます。全体交流では、グループのクラゲチャートを表示しながら、代表者が説明を行います。

まとめる ③次時の学習の見通しをもつ



授業の最後には、次時に登場するゲストティーチャーへの質問を考えます。この時に、ブラウザ版のロイロノートに切り替えると、共同編集が可能となります。また、質問を整理する際に、ダイヤモンドランキングを使用すると、質問の優先順位を決めることができます。このように、子ども同士で質問を共有し整理し合うことで、見通しをもって次時の学習に臨むことができます。

授業改善の工夫とアイデア



教師が教材研究をするときにも、子どもが調べ学習をする時にも、ゲストティーチャーへの聞き取り調査を実施することが大切です。その際に、Zoom を活用して、学校とゲストティーチャーとをつなげば、時間的・距離的な制約を解消することができます。子どもたちにとって、馴染みの薄い発展途上国の学習だからこそ、国際協力の経験をもつ人からの体験談が重要になります。